

6月の
例会

「市民おもしろ塾」

会場

能代市中央公民館 2階第五研修室

あなたの知らない「寺山修司・天井棧敷」

『アングラ時代とその後の人生』

講師：関 登美子（演劇実験室「天井棧敷」元劇団員）

日時：令和6年6月15日（土）
13:30～15:30



第148回

発病後に見出した遺歌（重歌）の世界

『私の登山愛好の歴史と「山の歌」集』

講師：中田直和（旧岳志塾主宰者）

日時：令和6年6月29日（土）13:30～15:30



第149回

*マスク着用をお願いします



ホームページ
QRコード



Facebook
QRコード

費用 会員：200円
非会員：300円

お問い合わせ

市民おもしろ塾 事務局

TEL 090-7792-1293

関 登美子 先生（演劇実験室「天井桟敷」元劇団員）略歴

◆プロフィール

- 1951年 旧八竜町 農家の長女として生まれる
- 1966年 能代北高等学校卒業 秋田大学教育学部入学
- 1971年 同大学中退 演劇実験室「天井桟敷」入団
- 1972年 1月「邪宗門」渋谷公会堂
8月野外劇「走れメロス」ミュンヘン・オリンピック芸術祭
9月「邪宗門」デンマーク 10月「阿片戦争」オランダ 各公演
- 1973年 9月～11月上旬「盲人書簡」オランダ、ポーランド公演
- 1974年 天井桟敷退団
- 1981年 秋田の実家へ、現在に至る



平成元年からのコーラスメンバー

【活動していること】

- コールなぎさ～コール wings
- 八竜ミュージカル～三種ミュージカル
- 図書ボランティアはみんぐ トンボ・バッタプロジェクト
- 古民家湖北邸 クアオルト研究会 jinjin banban



ミュンヘン・オリンピック
会場での演劇の様子



写真集・パンフレットの表紙

*講演『アングラ時代とその後の人生』について

小学校の先生になるつもりで入学した大学。2年の夏出会った映画「書を捨てよ 町へ出よう」。3年半のアングラ時代と、2度のヨーロッパ公演で見聞きし、感じたこと多々。おかげで、ただの世話焼きおばさんの人生は刺激的で、エンタメ精神にあふれています。

※荒川康一氏(秋田魁新報「時代を語る・関 登美子編」執筆)とのトークあり

中田直和 先生（旧岳志塾主宰者）略歴

◆プロフィール

- 1950年 米軍占領下の能代市に超未熟児として出生
- 1966年 能代高校入学と同時に「登山同好会」入会。月に2,3回白神岳へ。のちに単独行。
- 1969年 高校卒業直前に、東京山谷のドヤ街でドヤモンと10日間生活。
- 1969年 高卒と同時に京都へ。一年間、東山、北山、西山を走り回る。
- 1970年 大学の休みをサボっては、上高地、北アルプスへ。夏休みなどは、東北へ。
- 1978年 春、大学卒業。一旦能代に帰る。
- 1979年 春、ドイツへ渡航。スイスで登山しまくり後、デュッセルドルフ大学入学。
- 1980年 父親の癌再発の為、帰国。結果、ドイツの就職先消滅。「能代山の会」入会。
- 1981年 結婚。私塾開始。県北初めてと言われるワープロ教室を開始し、パソコンも教える。
生徒達を連れての登山を始める。 1990年 裏岩手縦走成功。
- 2009年 「能代山の会」退会。山の歌集制作開始。夜な夜な、大酒の日々。
- 2010年 昭和歌謡の歌動画の収集を始め、現在までに約1000曲に至る。
- 2018年 歌声集会開催。
- 2019年 心不全発症。以後、自立神経障害等に。私塾閉鎖。
- 2021年 断捨離の覚悟なれど、せめて「遺声（声を残す）」位はとの思ひ断ち難し。
- 2022年 最初の重歌（遺歌）DVD19（逝く）曲版作成。現在20（二重）曲版を編集中。



1989年八甲田大岳山頂にて



裏岩手縦走（八幡平）

*講演『私の登山愛好の歴史と山の歌集』について

山に魅せられ、活動した懐かしい日々。京都やドイツでの生活体験。能代に帰ってからの岳志塾の若者たちへの指導。そして山の歌集・昭和歌謡集の収集さらには重歌（遺歌）への展開を皆さんと共に分かち合いたいと思います。



自主制作の歌集 DVD